

平成 27 年度 各郡市の研究活動報告（加茂市）

会 長 佐 藤 和 彦
評議員 佐 藤 和 彦

1 研究活動の方針

（1） 子どもや時代の課題から

加茂市の児童生徒の学力向上に向けて、会員相互の密接な連携の下、主体的・協働的な学びを究める実践に努め、会員の資質向上、授業力の向上を目指す。

（2） 地域の特性から

五つの中学校区が集まる加茂市では、180名の会員が教科と領域の二つの部会に所属し、小中連携の下に研究活動を推進する。

2 研究活動の実際

（1） 研究活動の組織について

総会、運営委員会（各校の教務主任）、理事会（各校の校長）、各教科・領域の正副部長会を設置し、各部会の活動・予算等について審議したり決定したりしている。

（2） 各組織の活動について

各教科・領域と養教、栄養職員、事務部会からなり、各部会に研修主題を設定し、授業研究に力を入れ、実技研修会、実技講習会、講演会、事例研究会等、多様な研修活動を実施している。

（3） 研究刊行物について

加茂市教育委員会の年1回発刊の「加茂市の学校教育」に、加茂市学校教育研究協議会の研究記録を載せている。

（4） その他

○教育講演会

平成 27 年 8 月 27 日（木） 9:30~11:30 会場：加茂文化会館

演題「ひとづくり まちづくり 自分づくり」

講師 新潟経営大学経営情報学部 教授 中島 純 様

○先進校視察

次年度の研究発表校が先進校を視察し、自校の研究活動の推進に役立てる。

3 加茂市小教研が関係した研究会

○加茂市教育委員会指定研究会

平成 27 年度 11 月 13 日（金） 会場：加茂市立七谷小学校
加茂市立七谷中学校

平成27年度 各郡市の研究活動報告(南蒲・田上町)

会長 尾崎 章

副会長 原 秀栄智

1 研究活動の方針

(1) 子供や時代の課題から

田上の子は田上で育てるという目標に向かって「田上の12か年教育」を策定し、その具現化に向けて教職員相互の緊密な連携を図る。また、今年度から田上中学校区小中連携社会性育成推進実践研究指定を受け、「いじめ・不登校等の未然防止に向けた児童・生徒の社会性育成」をテーマに取り組みを推進する。

(2) 地域の特性から

1中学校・2小学校という小回りのきく規模を生かした部会構成により、今日的な学校課題の改善に組織的に取り組む。

2 研究活動の実際

(1) 研究活動の組織について

- 総会、評議員会（各校の校長・教頭・教務・研究主任）、部長・副部長会を置き年間計画に基づいて各事業についての調整等を図る。
- 全会員が所属する教科・領域のA部会とその他の分掌部会のB部会を構成し、研究活動を推進する。

(2) 各組織の活動について

A部会は、原則年間3回の研修の場を設定し、講演会や実技指導等の実施及び各校の授業公開を通して指導力の向上、指導計画の充実等を図る。B部会は、必要に応じて適宜部会を設定し、多様な研究活動及び情報交換を実施する。

(3) 研究刊行物について

田上町教育研究協議会の委託事業として「田上の教育」を発刊する。

(4) 幼・小・中の連携の推進

田上町研究協議会として幼・小・中の連携を探るために幼・小ではアプローチ・スタート・カリキュラムを作成し、小1プロブレムの理解と解消をめざしている。更に小・中の連携を深めるために、算数・数学科と外国語(英語)の指導案を小・中協働で作成し授業改善に取り組んでいる。今年度は、新たに理科の接続プランを作成した。また、小中連携の9年間を見通した「学びのきまり」を作成した。(町教研学力向上部)

(5) その他

夏季全体研修会

教職員のストレスマネジメント力を高めるため、一般社団法人新潟県労働衛生医学協会常務理事大西金吾様を招いての講演会を実施した。